



学び舎に感謝「だんだん。本浦小」

惜しまれながら歴史に幕

明治25年、本浦尋常小学校として創立された本浦小学校（富岡乃夫也校長）が3月31日、122年の歴史に幕を閉じます。

2月8日、同校体育館で閉校式が行われ、在校生や地域住民のほか町内外に住む卒業生ら約250人が出席し、学び舎の閉校を惜しみました。

1世紀以上にわたる歴史の中で、1366人（平成25年度末現在）の卒業生を輩出した同校。第34代校長の富岡校長は式の中で「惜しまれながらこの日を迎えた。卒業生らは各方面で活躍し、本浦魂は後輩に受け継がれている。これからも本浦魂を永遠に受け継いで」と児童らにエールを送りました。

川添健町長や来賓者のあいさつの後、同校のこれまでの歩みをまとめた映像が紹介され、思い出を振り返った出席者からは、すすり泣く声が聞こえました。

最後のPTA会長となった早

↑3月で閉校する本浦小学校校舎

122年の歩み（沿革）※一部抜粋

明治25年11月	本浦尋常小学校創立（諸浦974番地）
34年9月	改築、移転（諸浦995番地）
40年10月	運動場設定
昭和16年4月	本浦国民学校と改称
22年4月	本浦小学校と改称
25年4月	新校舎落成、移転
40年9月	ピアノ購入
41年10月	校内放送施設完成
45年5月	完全給食開始（町給食センター）
50年3月	学校新築鉄筋2階校舎（14学級）完成（諸浦541番地）
53年12月	体育館落成
54年4月	校庭拡張工事完了
56年4月	「山坂達者」推進実践校として県の指定を受ける
57年11月	創立90周年記念式典
平成4年11月	創立100周年記念式典
9年6月	「本浦つ子健全育成連絡協議会」発会
18年3月	新長島町誕生
24年10月	地域の歌「だんだん！諸浦島」完成
24年11月	創立120周年を祝う式
27年2月	閉校記念式典